

平成22年度に実施した主な事業

生涯安心

療原総合病院への負担

決算額／9億2591万円

特定医療法人沖繩徳州会に指定管理者をお願いし、初めての通年経営となりました。患者数は減少しましたが、救急搬送の24時間365日の受け入れが実施されたことや、徳州会グループ内の調整による常勤医の確保や非常勤医の応援による診療科の開設などにより、再び地域の中核病院としての役割を担っています。負担金は前年度に比べ、約半分になりました。

自主運行バスの運行

決算額／1億720万円

市民の通勤・通学など生活交通を確保するため、萩間線、勝間田線、相良御前崎線など自主運行バス5路線について、関係市とともにしずてつジャストライン株式会社に運行を委託しました。また、島田静波線については補助を行い、



更新した2台の消防ポンプ自動車

消防ポンプ自動車の更新

決算額／2930万円

円滑で安全な消防活動が行えるよう第8分団（大江区）、第10分団（地頭方区）の消防ポンプ自動車の更新を行いました。

運行維持に努めました。

和光館の耐震工事

決算額／1831万円

地区の拠点として利用されている和光館の耐震補強工事を実施し、さまざまな教室やイベント、会議が安心して行えるようになりました。



耐震工事が完了した和光館

まちの活性化

自治基本条例の検討

決算額／9万円

自治基本条例を創る会を開催し、市民の皆さんと検討し

安全なまちづくり

市民相談センターの運営

決算額／403万円

複雑、多様化する消費生活のトラブルに対応するため、専門相談員2名を配置し337件の相談、解決の手助けをしました。また、日常での困りごとなどの一般相談についても相談に応じました。

住宅の耐震化の促進

決算額／1811万円

予想される東海地震から一人でも多くの市民の生命や財産を守るため、昭和56年5月以前に建築した木造住宅の耐震化に対して、わが家の専門化診断60件、補強計画策定67件、補強工事17件、ブロック塀等耐震改修11件に補助しました。

子育て徳育

子ども手当の創設

決算額／8億9590万円

平成22年4月から、児童手当に変わり中学3年生までの子どもを養育する父母などに対して、1人当たり1万3000円を支給しました。支給対象の子どもは、23年2月末現在で6547人です。

放課後児童クラブの運営

決算額／2371万円

父母などの帰宅までの放課後の生活の場として、市内6箇所（定員200人）で小学1年生から3年生を対象に受け入れをしました。

た条例案が市議会2月定例会で可決され、10月1日に施行されました。条例の内容を周知するため、広報紙への「シリーズ自治基本条例」の掲載や自治会などに出向き、延べ65回の市民説明会を開催しました。

地域活動に関わる人材の育成

決算額／13万円

地域の課題を地域で解決できるしくみをつくることを目的として、会議の進行役を養成するまちづくり協働ファシリテーター養成講座を開催。35人が受講し、技術を学びました。

生活・幹線道路の整備

決算額／6億2730万円

国県道などを含めた広域交通ネットワークの整備に併せて、市内主要幹線道路の整備と地域に密着した生活道路の整備を進めました。

〔整備路線〕

▼新設Ⅱ老丁田北線・大倉老

23年3月期の利用児童数は185人です。

坂部保育園、地頭方保育園の整備（耐震化）

決算額／1億5439万円

園児の安全安心のため、保育園の耐震化を重点的に進めてきました。地頭方保育園の耐震補強工事は22年度内に終了しました。坂部保育園新築工事は、23年11月に終了し、これで保育園の耐震化は全て完了します。



完成間近の坂部保育園（ホール）

移動図書館車の整備

決算額／1762万円

老朽化が進んでいた移動図書館車を財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて、更新しました。市内53箇所年間約

丁田線（東萩間・白井）1億8663万円、山の手幹線（川崎・静波）2億1660万円、須々木56号線（須々木）795万円
▼改良Ⅰ細江1号幹線（細江）5291万円、東萩間西原線（東萩間）3589万円、八ツ枝毛ヶ谷線（坂部）1761万円、堀野新田22号線（豊岡）2343万円、中西4号線排水路（中里）4831万円、太田江湖田線（大江）2360万円、静波65号線（静波）1339万円、勝間田静波線（勝間田）98万円



改良工事を実施した東萩間西原線

環境行動

太陽光発電設備などの設置

決算額／3800万円

地球温暖化防止対策の一環として、相良庁舎に太陽光発電システムとLED型省エネ照明機器を国の補助金を活用して整備しました。22年4月と23年同月使用分を比較すると9・6%の電気料の節減となりました。



相良庁舎に設置された太陽光発電設備

エコマイハウス支援事業

決算額／144万円

温室効果ガスの排出量の削減を図るため、住宅用太陽光発電システム、高効率給湯器など2つ以上を同時に設置した24人の人に補助金を交付しました。

農工商善

商店街街路灯LED化への補助事業

決算額／361万円

しんまち遊ロード管理組合と相良町本通り商店街街路灯組合の街路灯のLED化に対して、補助金を交付しました。交換前と比較すると電気料が6割減となり、削減できた経費を来店者に対しての新たな事業展開に活用することが期待されます。



ひまわり号を利用する相良小の児童

1万2000冊の本の貸し出しを行いました。

牧之原畑地総合整備土地改良事業の推進

決算額／4億6630万円

牧之原台地で昭和48年度から実施した、畑地かんがい施設や農道整備などの土地改良事業に要した整備費用に対する賦課金などで、20年度から開始した県営畑地帯総合整備事業（勝間田・仁田・片浜・鬼女新田・坂部・切山地区）では、6地区の畑地かんがい施設整備や3地区の茶園区画整理事業を行いました。



区画整理された茶園（坂部地区）

災害融資資金の利子助成

決算額／125万円

平成22年3月30日に発生した茶の凍霜害被害を受けた農業者の災害融資資金の利子の半分ずつを、市とJAハイナで5年間負担することとしました。融資額は146件で5億7300万円です。